



お互いの愛情を確かめ合う「ラブリング」の様子です。胸とくちばしをくっつけ、ハートの形を作ります。仲のいい夫婦のことを「オシドリ夫婦」といいますが、実は「1年契約」。ペアを変えずに、ずっと添い遂げるコハクチョウの方が理想の夫婦といえるでしょう。

●見られる場所…高月～びわの水田、琵琶湖岸など



優雅? いやいや実は田んぼで大騒ぎ

コハクチョウ

まずは王道
冬の三大スター

時々みんなで鳴き合ってダンスをしているような光景が見られますが、実はケンカ騒ぎ。小競り合いが始まるとみんながワイワイ集まってきて大騒ぎに! でも、その結果なぜかケンカが収まります。

何故か周りも参戦



チャームポイントは小さな目とオレンジの太い足。天然記念物として丁重に保護されています。長浜が日本の分布の南限で、オオヒシクイが越冬のため飛来することでも有名。また、雁行（ガンの編隊飛行）が見られるのは、近畿地方では長浜が唯一の地域です。

●見られる場所…西池、琵琶湖岸など



オオヒシクイ 長浜のVIPーだけど

その名のとおり水草の「ヒシの実」が大好物。だけど、硬いのでほとんど丸飲み…。だから、お腹の中のヒシの実をゆーっく

り消化するために、食べる以外はほとんど寝っぱなし。食っちゃ寝が大好きなのんびり屋さんです。



するどい眼光に威厳を感じさせられます。翼を広げると240cmほどにもなるため、「量が飛んでいる」と表現する人も。オオワシの夫婦は、冬の間は別居生活。単独で越冬します。

●見られる場所…山本山、大浦湾、湖北野鳥センター

女王様降臨! オオワシ

湖北町の山本山に毎年1羽のオオワシが飛来します。もう19年も続けてやって来ているので「山本山のおばあちゃん」とか「女王様」なんて呼ぶ人も。1km以上離れた魚を見つけて、驚異的な視力で、水の中もはっきり見えるんだって! (驚)



紹介担当
エナガさん

いま、長浜の冬鳥がおもしろい

トリミツを知ってわかる「鳥模様」

これからやってくる寒さ厳しい冬。人間の皆さんだけじゃなく、私たちにもつらいシーズンなんです。

でも、私たちが暮らす長浜は、山や琵琶湖、広大な田んぼもあって、厳しい冬を過ごすにはぴったり! 長浜はまさに「冬鳥たちには選ばれたまち」なのです。

今回紹介するのは、湖岸や公園、家の庭先など、皆さんの身近で見られる鳥ばかり。

これを知ったら、私たちに親しみを持ってもらえるはずですよ。

